永いあいだご苦労さまでした　蒸気機関車を送る会

名残惜しさのあまり、吠えるような長い〳〵汽笛が三度。

昭和三十四年九月二十一日午後五時二十五分——夕暮れの国鉄日光駅。明治二十三年開通以来、六十九年間の蒸気機関車運転に終止符の打たれる一瞬だ。最後の蒸気機関車D五一の運転台には宇都宮機関区寂野機関手らが、受取つたばかりの花束と感謝状をかかえ込んで乗り込んでいる。一番ホームと二番ホームは、この最後の機関車を送ろうと、市民がいつぱいにつめかけている。その中で、ひときわ高い日光小学校鼓笛隊の「ホタルの光」演奏。何百本とも数知れないテープがスルスルと伸びて機関車はすべり出す。「さようならさようなら」「御苦労様でした」市民の歓送の中を機関車は速力を増してゆく。ホームに立つて、この列車をじつと見送るI助役の目に涙がにじんで来る。〝雨の朝も、雨の夜も……想えば蒸気機関車との永いつきあいであつた。I助役の胸裏には、さまざまの感慨が去来していた事だろう。

神山市議会議長は、「六十九年間、信頼と感謝の念をもつて迎えられた機関車も、観光地発展と云う大役を果たし、今ここを去つて行きます。永年御苦労様でした。」と市民を代表して機関車を送る言葉を述べた。

十月三十一日は　市民税　第三期の　納期限です

杉並木たおれる
十五号台風のつめあと

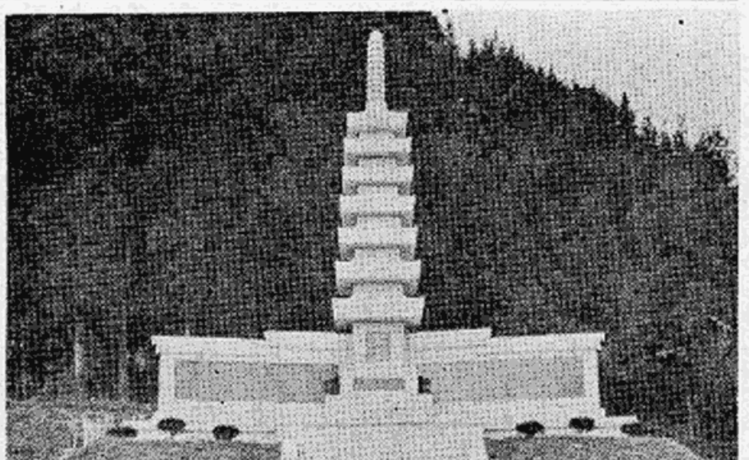
今年最大と云われた第十五号台風は二十六日夜半から、二十七日朝にかけて通過したが、想像より雨量が少なかつたため、河川の増水による被害はわりに少なかつた。しかし区間風が強かつたため杉並木が倒れ、山内の三仏堂わきの杉を始め、神橋表参道入口、相生町等巨木の倒壊が目立つた。特に相生町では人家の上に倒れたため家屋を大破し、又神橋附近では軌道線ケーブルを切断したりして一時交通止めのさわぎを演じた。一方上水道は、水源がにごつたため二十六日夜七時より安良沢地区が断水。続ずいて八時から他の地区が断水したが徹夜の復旧作業の結果、二十七日には正午から通水が始り午後の五時には全市が通水した。道路関係でも数ケ所の被害を出した。

戦没者慰霊塔建つ

戦没者慰霊塔建設委員会が中心になつて、市民の浄財を集めて建設中だつた、戦没者慰霊塔は、総工費三百余万円で、このほど松原町桜ケ丘に出来上り、九月二十四日除幕式が行われた。

この慰霊塔には第二次世界大戦の戦没者六百六十柱が刻まれている大きく刻まれた「慰霊」の文字は、「靖国神社の筑波宮司の書になるもの、塔の高さは十一メートルの堂々たる総御影石作り、静かな山腹に真白い姿を参列者の前に現わした。

除幕式終了後、十一時より公会堂で、輪王寺一山総出仕により厳かな慰霊祭が行われた。



（写真は出来上つた慰霊塔）

学園めぐり③

良き職業人を作る
産業教育の日光中学校

日光中学校は花石町で電車を降り、十分程山寄りに入つた所にある。自然のふところに抱かれた、と云う形容がぴつたりする静かな恵まれた場所だ。この中学校が文部省と、県の教育委員会から〝産業教育研究〟の指定校として指示されたのは二年前。その研究の成果が一応まとめられ、発表会が九月二十一日に行われた。そこで早速同校を訪ねて、瓦井校長の案内で校内を一巡し、説明を受ける。この学校が行つた産業教育の研究テーマは ①〝環境に恵まれない学校における職業指導は、どのようにしたらよいか〟でこれにはわずかの土地を利用しての園芸、農業の指導等が行われた。その他では ②製図指導の学習効果 ③記帳技術を高める指導 ④男女共通の調理指導など各方面にわたつている。きれいな調理室を訪れると男女共同で料理の真最中、白い上衣に白いマスク姿で（写真）男女の区別がちよつとつきかねる。パンを切つたり、皿を洗つたり、なかなかたいへんだ。男も女も仲よくやつている。

校庭へ出ると先生をかこんでオートバイの練習。オートバイの構造の説明を受けた後、先生と一緒に奥の校庭を一巡する。技術を覚えることもさることながら、先生の手から生徒は直接に温かさを感じるだろう。こんなところに生きた産業教育はあるそうだ。製図ではボルトを正確に製図し青写真に焼付ける。記帳も先生の指導で熱心に行われる。生徒達は近代学問を学ぶかたわら卒業してすぐに役立つ生きた勉強をしているわけだ。

二十一日には近隣学校関係者を集めて二年間の研究の成果発表があり、数々の価値あるデーターが発表された。今後の中学校の産業教育のまたとない資料となろう。きつとよい職業人が育つ…　校長に別れを告げつつ、そう感じた。

中小企業に退職金制度
従業員のための〝法〟出来る

中小企業に退職金制度を確立するための法律として「中小企業退職金共済法」が五月二日に成立した。この制度は、事業主が毎月掛金を最寄りの金融機関に払い込んでおきさえすれば、退職金の支給はすべて中小企業退職金共済事業団から行われるので、事業主はなんの心配もなく、きわめて手軽に退職金制度を設けることが出来ると云うもの。事業主の納める掛金は全額免税されるので、この免税によつて浮く税金の額は、掛金の約四割になるから非常に有利なことになる。

この退職金共済制度に加入できる事業主は、従業員数、百人（商業、サービス業は三十人）以下の事業主。この制度に加入するかどうかは事業主の自由だが加入する場合には、従業員を不当に差別待遇しないようにしなければならない。掛金は従業員一人当り、月二百円以上、一千円までの額で、途中から増額も出来る。掛金は最寄りの金融機関に払い込めばよいことになっている。

この法律により、従業員の福祉の増進と企業の振興がはかられるためには、まず事業主の理解と協力が何より必要。そこで今月の上旬、日光清滝地区と中禅寺湯元地区にわけて説明会を実施予定なので、ぜひとも御出席願いたい。尚詳細は、追つて事業主あて直接通知される。

夜間照明実施

秋の観光シーズンを迎えて今年も夜間照明が行われる。これは昨年の夏、神橋、五重塔等山内の数ケ所で実験を行つて好評を得たものだが、日光を訪れた観光客に、夜も別な角度からその美しさを味つてもらおうと云うもの。期間は十月一日から末日まで一ケ月間、夜六時半から八時半までの二時間行われる。

たばこは　市内で　買いましょう

広報板

八王子青年團来晃

山内に八王子千人同心の顕彰碑が立てられて以来、日光市とは兄弟市の様な友交関係にある八王子市から青年団の幹部四十二名が去る九月十九日来晃した。一行は市役所で婦人会、青年団など日光市の社会教育についての説明を聞いた後、ユースホステルで意見の交換会を行い、同夜はユースホステルに一泊した。翌日は奥日光方面から、市内を一巡し、特に各種の市の施設を熱心に見学「日光はまつたくすばらしい」と感心しながら夕刻帰京した。

狂犬病予防注射

狂犬病を予防するための注射が行われる。飼犬は必ず受けておかなければならない。昭和三十四年度の犬の登録も、当日注射場所で受付ける。

注射料金（一頭）百二十円

登録料金（一頭）　三百円

（十月十九日）菖蒲ケ浜養魚場十一時から、赤沼停留所前、一時、湯川吉田三郎方、二時、湯元湯の家旅館、三時（二十日）中宮祠出張所前、十時＝十二時（二十一日）清滝小島牛乳店、十時＝十二時、西町公民館、二時＝四時（二十二日）東町グランド、十時＝十二時、（二十三日）野口小学校、十時＝十二時山久保公民館、（二十四日）小来川（支所前十時＝十二時）。

味覚の秋

俳人鬼城の句に「盃を受けつつ茸を焼きにけり」と云うのがある。茸に限らず、秋は味覚豊かな季節だ。栗落ち、ブドウ実り、柿も色ずく。松茸、初茸、しめじ、そして小蕪、くわい、甘藷も美味い。昔から天高く馬肥ゆると云われるわけは豊活な味覚に食欲が進むためだろう。一般に、夏季は胃腸の機能が弱り、俗に云う夏やせ等で体力が落ちているのが普通で、その挽回には味覚の秋が絶好のチャンス。特にビタミン類とカルシュームを多く摂取するように心がけたい。

第九回　日光市文化祭

毎年行われている日光市文化祭が今年も十一月に開かれる。

行事の細目については、実行委員会を開いて決定されるが、日取は、十一月十日から十二日までの三日間、公会堂、日光小学校講堂、清滝公民館が会場で小来川地区は同月十五日、十六日の両日開かれる。

第十三回　市民運動会

十一月八日に稲荷町市営常設球場で行われる。細目は未決定

国勢調査区　設定替え

明年十月一日には、第九回目の国勢調査、昭和三十五年国勢調査が行われるが、これにさきだち、今年十月一日現在で調査区の全面設定替えが行われる。十月一日以降に調査区設定員が市内を洩れなく巡回し調査区地図及び世帯名簿を作成するのでその折りは御協力お願いいたします。

読書週間

「秋ふかくなりしとおもう燈火かな」俳人、もと女の句にそんなのがあつた。秋は夜長であり夜長こそは燈下に親しむ絶好のチャンス。そんなところから読書週間も行われる。読書をする方法はいろいろあるが、図書館を利用するのも一法。例えば山内にある輪王寺の図書館等、書籍も豊富だし、大いに利用したいものだ。県の移動図書も、月に一回やつて来る。移動図書を利用したい方は市役所の社会教育係に申込まれるのがいい。又この機会に子供に良い本を読む習慣をつけることも忘れてはならない。

外国人の方へ

昭和三十一年に新規登録又は外国人登録証明書の切替の申請をした方は、登録、確認を受けた日から、三年目に相当する日（登録証明書に記入してある）前三十日以内に市役所総務課に来て確認申請をしなければならない。十四才以上の方は写真三枚が必要。

解説
追加更正予算の内容

第一回議会記事でお知らせした通り，今回の定例会には，一般会計一千四百五十三万三千六百円の追加更正予算が議決になつたが，この中には第六，七号台風による被害，および東中学校の増築等の事業費が大きい比率をしめている。

この追加更正予算のあらましについて説明すると次のようなことになる。

まず第六，第七台風の被害，これについては前号でもお知らせしたがその被害は予想以上でその対策に大きい経費がかかることがわかつた。

東西両町，東大字及び小来川地区の道路の砂利補充による維修に三十五万円，芹野大谷橋，和の代大谷橋，野口岩の沢橋，の復旧工事として百十五万円が計上され，早速これに着手することになつている。

一般土木関係では，小来川道路改修等に六十一万五千円，国鉄東武前都市計画事業に四十八万九千円が追加計上されている

教育費に目をやると現在東中学校は学級増により，教員室を二分して二教室，特別教室の一教室を使用している現況で，この教室不足を解消するため三百四十七万三千円が計上され近く現在の校舎の西側に四教室百二十坪の校舎建設工事に着手し，来春には完成の予定になつている

この外中宮祠小学校給食室の新築に三十万円，日光中学校に二社一寺，精銅所からの寄付，十三万円を含めて，三十万円でピアノを購入，鹿沼農商豊岡分校施設に十万円等が計上された。

産業経済費においては，和の代滝ケ原間の道路は現在山道の状況となつているものを，今度は国庫補助を受け，連絡車道，を今年度百九十万八千円を支出し三ケ年継続をもつて着工することになつた。

水道関係でも，六，七号台風により被害を受け市民各位には多大の御迷惑をかけたのだが，この復旧費のために百五十三万五千円が計上されている。